

なんすん玉葱部会は、令和4年度
のあぐりチャレンジ事業でタマネギ
の自動選別機を2台導入しました。
部会員の労力軽減と規格の統一を進
め、生産量拡大につなげます。
同部会は沼津市周辺の2市2町
で21人がタマネギを生産。市場と学
校給食に出荷しています。
選別機は、皮むき・磨き、大きさの
選別までを自動で仕上げます。手作

**選別機導入で生産力向上へ
収穫量85トンを目指す**



なんすん地区
たまねぎ
なんすん玉葱部会

◀出荷規格を統一
する目ぞろえ会



タマネギの自動選別機を試運転する部会員ら

業では1時間当たり40kgが限度で
したが、同機械では約800kgの処
理が可能です。
同部会では令和4年度に55トン
だった収量を令和7年度までに85ト
ンに増やす計画をしています。
担当の営農アドバイザーは「生産
者の一番の負担である選別作業の
時間を減らし、生産拡大のサポー
トに注力したい」と意気込みました。



特集 JA自己改革

あぐりチャレンジ事業を採択

～実践中のチャレンジの進捗も紹介～

当JAが意欲ある生産組織の新たな取り組みを支援する「令和6年度あぐりチャレンジ事業」が採択されました。令和4年のJA発足当初から営農事業の目玉企画として展開。今回は実践中の事業の進捗と令和6年度採択事業一覧をご紹介します。

意欲ある生産組織を支援

JAは、農業所得の向上や農業生産の拡大、生産組織の基盤強化に向けて、助成事業「あぐりチャレンジ事業」を展開しています。令和4年度は27件を採択し合計約2400万円を助成、令和5年度は22件で約1600万円を助成しました。各生産組織が営農アドバイザーと共に事業を実践し、生産拡大を図っています。

令和6年度は6月から8月にかけて募集。助成対象は、①新たな作物・転換作物の導入、②新たな生産技術・改良技術の導入、③新たな需要の創造を図る販売、④生産部会による試験的な取り組み、⑤加工品の開発、⑥企業や個人事業者と連携して取り組む宣伝・販促活動に関する事業とし、200万円を上限に事業費の90%までを助成します。また、令和7年度については、



あぐりチャレンジ事業審査会を実施

より利用しやすいよう、同年4月1日から年間を通じた助成請求ができるように、7年度分の募集を10月から11月に行いました。
17事業に合計約1800万円を助成

令和6年度は、23件の申請があり、担当役員による審査会の結果、7品目17件、合計助成額1862万5300円を採択しました。6年度の採択事業一覧は9ページの表のとおりです。

富士宮苺部会では、令和3年度から冷凍イチゴの出荷に取り組んでいます。同部会と富士宮営農経済センターでは、令和4年度にあぐりチャレンジ事業を活用して、冷凍イチゴを保管する冷凍庫を導入。販売力向上のためJAで全量を買取り、販売する方法を導入しました。
冷凍イチゴは、部会全体の過熟果の破棄を冷凍庫導入前の7トンから

**過熟果の破棄2トン削減
冷凍イチゴ全量買い取りで所得安定**



富士宮地区
いちご
富士宮苺部会

◀「完熟の冷凍イチゴで新たな販路拡大につながっている」と話す石川部会長



買い取りの冷凍イチゴを冷凍庫に保管する職員

5トンに減らせ、結果、部会全体で販売高が約200万円増加し、農業所得の向上につながっています。
石川嘉章部会長は「JAは販路拡大に尽力してくれてありがたい。冷凍イチゴは完熟を余すことなく出荷でき破棄するイチゴも減る。荷造りも生のイチゴに比べて手間もない。その分、次作の苗づくりや他の作業にも専念できる」と話しました。

令和6年度あぐりチャレンジ事業 採択事業

(単位:円)

品目	農産物	組織名	取り組み内容	助成金額
主要品目	イチゴ	伊豆太陽地区本部 いちご委員会	病害軽減に向けた育苗棚導入費用(すくすく棚)	2,000,000
		三島函南苺委員会	栽培方法の統一と収量向上に向けた環境モニタリング機器導入費用(はかる蔵)	2,000,000
		富士宮苺部会	IPM防除体系の確立に向けた天敵導入費用(アザミウマ対策)	420,000
	ワサビ	伊豆太陽地区本部 (東)わさび共販委員会	ワサビ苗の育苗方法統一による加熱乾燥式水分計導入費用	267,600
		中伊豆山葵組合	夏秋季苗の確保に向けたワサビ苗長期保存用加湿機能付き冷蔵庫の導入費用	1,764,900
		伊豆の国わさび委員会	条件の異なるワサビ沢でのワサビ生育調査にかかる定植用ワサビ苗費用	85,400
		あいら伊豆野菜部会	畑ワサビ試験栽培に向けた種子・定植用苗費用	450,800
	柑橘	伊豆太陽地区本部 ハウスみかん部会	生産コスト抑制に向けたボイラー燃費削減装置の導入費用(ボイラーアップマン)	1,520,400
		あいら伊豆柑橘部会	品質向上(糖度12度以上)に向けたシールディング・マルチ試験栽培費用	1,042,100
		西浦レモネード部会	レモネードの出荷規格外品を活用した新商品の開発費用	90,000
	水稻	南箱根大塚株式会社	乾田直播栽培に向けたドリルシーダーの導入費用	2,000,000
		ベジフルイノベーション ごてんばおやま	乾田直播・節水栽培に向けた鎮圧ローラーの導入費用と販売拡大に向けたJ-クレジット実証事務代行費用	2,000,000
御殿場小山エコ栽培米出荷組合		エコ栽培米合格率75%以上に向けた水田ファーモの導入費用	956,200	
清郷ファーム組合		適期防除の実施に向けたラジコン動噴の導入費用	1,176,500	
地域戦略品目	ニンジン	三島人参部会	付加価値による販売単価向上に向けた味覚分析費用	252,000
	白ネギ	沼津ねがた白ねぎ部会	労働力軽減に向けた播種機・除草機の導入費用	1,595,500
	タマネギ	なんすん玉葱部会	販売高5,000万円に向け、労働力を軽減するタマネギ定植機の導入費用	1,003,900
合計			18,625,300	

主要品目…管内広域で生産されている将来に向けて振興を図る特産品

地域戦略品目…地域特性を發揮して振興を図る品目

出荷量アップと 労働負担削減に向けタマネギ自動定植機導入

富士地区農業アカデミー部会は部員数16人。壮年部田子浦支部の有志で結成されました。メンバーは60〜80代で、高齢化で一人での作業は大変ということで、助け合いながら仲間と共同の畑で協力して野菜栽培を行っています。

令和5年度のあぐりチャレンジ事業でタマネギ苗の自動定植機を導入。定植作業が10アール当たり6時間かかっていたところを1.5時間

に減らせ、併せて、作付面積の拡大で生産量を8.3トンから9.2トンに増大。部会全体で販売高が約70万円増加し、農業所得の向上につながりました。

大竹稲光部会長は「生産者の高齢化も進み、定植は重労働だったが、機械化で労働負担が減った。販売高も増え農業所得増大にもつながっている」と話しました。



富士地区
富士地区農業アカデミー部会



◀ 苗を管理する 大竹部会長



タマネギ苗の定植機を操作する部会員ら

夏秋季定植用の苗を安定供給し 販売高増を目指す

ワサビ栽培は周年定植・出荷で、年間を通じて優良苗の安定供給が欠かせません。天城湯ヶ島山葵組合と中伊豆山葵組合は、苗の周年安定供給体制の構築を目指し、それぞれ令和5、6年度あぐりチャレンジ事業で加湿機能付き冷蔵庫を導入しました。

苗の供給での課題は夏秋季に定植する苗の確保です。夏秋季苗は夏期の高温で生育が難しく苗単価が高騰。

そのため冷蔵庫を導入して春季納品の苗を長期保存して夏秋季苗として活用し、安定供給につなげます。

苗の供給維持で安定生産し、中伊豆山葵組合は導入時より令和8年度で500万円、天城湯ヶ島山葵組合は600万円の販売高増を見込みます。

中伊豆山葵組合の塩谷美博組合長は「有効活用し高品質なワサビ生産につなげていきたい」と話しました。



伊豆の国地区
天城湯ヶ島山葵組合
中伊豆山葵組合



◀ 「良質苗の安定供給で高品質生産を」と話す塩谷組合長



湿度を循環させる加湿機能付き冷蔵庫で苗の品質を保持